

平成29年度 評価調書【施策】

計画目標 1 【安全】：施策（1）水質管理の強化

平成29年度評価調書（施策）

| | | | |
|-------|---|------|-------|
| 計画目標 | 水道水の安全の確保【安全】 | 整理番号 | 1－（1） |
| 施策 | 水質管理の強化 | 記載頁 | 42－45 |
| 施策の目的 | 給水栓末端に至るまで水質管理の強化を図り、すべてのお客様がいつでもどこでも、安心して飲める安全な水道水をお届けします。 | | |

【施策の進捗状況の判定】

進展している・概ね進展している・一部の進展にとどまっている

| | | |
|------------|--------------|--------------|
| 目標を達成した取組数 | 概ね目標を達成した取組数 | 目標に届かなかった取組数 |
| 2 | 1 | — |

【施策実現のための各取組内容の進捗状況】

| | |
|------------------|---------|
| ① 水質管理の強化 | 目標を達成 |
| ② 直結給水方式への推進 | 目標を達成 |
| ③ 給水装置に対する安全性の確保 | 概ね目標を達成 |

【各取組の実施状況】

| | | | |
|---------|--|-----------|----------------|
| 取組内容 | ①水質管理の強化 〔指標：目標を達成2（100%）〕 | 記載頁 42 | （担当課） 東金配水場 |
| 取組の概要 | <p>水質管理体制を定めた水質検査計画について最新情報を反映させた計画に更新するなど水質管理体制の強化に努めます。</p> <p>また、当該計画に基づく水質検査結果等の情報をホームページを通じてお客様に提供してまいります。</p> <p>さらに水質管理の向上を図るため、厚生労働省の推奨する総合的な「水安全計画」を策定していきます。</p> | | |
| 当年度取組目標 | <p>【水質情報の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新情報を反映した水質検査計画を策定（更新）します。 ・計画に基づく水質検査を行い、その結果を定期的にホームページで情報発信します。 ・水質異常時等の緊急時に迅速な対応が図れるように関係機関と連携し、連絡体制の強化に努めます。 <p>【水安全計画の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる水質管理の強化を図るため厚生労働省の推奨する総合的な「水安全計画（素案）」を作成します。 | | |

| | | |
|--------------|--|-------|
| | <p>[再掲]</p> <p>専門的知識や技術を習得できるよう職員を育成していきます。 (本籍:P26 整理番号 3-(6)【持続】活力ある人材・組織づくり<1>人材育成と技術の承継)</p> <p>(計画額 0 千円 当初予算 5,796 千円 決算額 6,527 千円)</p> | |
| 指 標 | 水質検査結果の公表 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 毎日検査の公表 (月 1 回) 定期検査の公表 (月 1 回) 水質基準項目 (年 4 回) | 目標を達成 |
| 実 績 | 毎日検査の公表 (月 1 回) 定期検査の公表 (月 1 回) 水質基準項目 (年 4 回) | |
| 指 標 | 水安全計画の策定 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 水安全計画 (素案) の作成 | 目標を達成 |
| 実 績 | 水安全計画の策定・公表 | |
| 当年度実施状況 | <p>【水質情報の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査計画の策定 (4 月) ・水質検査結果の定期的な公表 (1 回/月) ・関係機関との情報伝達訓練を実施 (緊急時手順の確認) <p>【水安全計画の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水安全計画の策定・検討チームを立ち上げ、素案の作成までとしていたが、1 年前倒して今年度末に策定・公表しました。 | |
| 要因・課題 対応策 | <p>[要因・課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水安全計画については、平成 31 年度の松尾配水場 3 号配水池の稼働に向けて見直しを行います。 | |

| | | | |
|--------------|---|-----------|--------------|
| 取組内容 | ②直結給水方式への推進 〔指標:目標を達成1(100%)〕 | 記載頁 44 | (担当課) 業務課 |
| 取組の概要 | <p>貯水槽水道の利用者に安全な水道水が供給されるよう、貯水槽の適正管理について、必要に応じて助言や情報提供を行ってまいります。</p> <p>また、配水管から直接、水を給水することで常に安全で衛生的な水をお使いいただける「直結給水方式」を推奨していきます。</p> | | |
| 当年度取組目標 | <p>【直結給水方式への推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貯水槽の適正管理をホームページや広報紙で周知してまいります。 ・給水申込の事前相談時において、貯水槽が不要なく、維持管理が軽減され水質管理が容易な「直結給水方式」を推奨してまいります。 <p>(計画額 0千円 当初予算 0千円 決算額 0千円)</p> | | |
| 指 標 | 直結給水率 | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 96.37% | 目標を達成 | |
| 実 績 | 96.39% | | |
| 当年度実施状況 | <p>【直結給水方式への推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貯水槽水道の適正管理についてホームページや広報紙で周知しました。 ・給水申込の事前相談時に直結給水方式を推奨しました。 | | |
| 要因・課題 対応策 | <p>〔要因・課題・対応策〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貯水槽水道の水質・衛生面の管理が懸念されることから、引き続き、適正管理の必要性を周知するとともに直結給水方式の普及促進を図ります。 | | |

| | | | |
|--------------|---|------------|--------------|
| 取組内容 | ③給水装置に対する安全性の確保 〔指標:概ね目標を達成1(100%)〕 | 記載頁 4 5 | (担当課) 業務課 |
| 取組の概要 | 給水装置の安全性を確保するため、漏水や通水不良といった給水事故を防ぐ取組を行ってまいります。 | | |
| 当年度取組目標 | 【給水装置に対する安全性の確保】 <ul style="list-style-type: none"> ・管路情報システム(給水管設置等情報)のデータ更新を行い、管路情報の精度を向上します。 ・口径 50 mm以上の給水管の取扱いについては、企業団の給水装置施行基準において使用材料が定められていることから、耐震管である配水用ポリエチレン管 (E F 接合)、ダクタイト 鋳鉄管 (耐震継手) を用いて施工するよう、指定給水装置工事事業者に対し申請時から完成時までの間、管材料選定から工事施工まで徹底した管理を行います。 ・さらなる安全性への取組として、有機溶剤に対する侵潤や運搬及び施工時の外面傷等の防止策を施した管材の採用に向けた検証を行います。 (計画額 0 千円 当初予算 0 千円 決算額 0 千円) | | |
| 指 標 | 給水管の事故割合 (件/1000 件) | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 4. 0 件以下 | 概ね目標を達成 | |
| 実 績 | 4. 9 件 | | |
| 当年度実施状況 | 【給水装置に対する安全性の確保】 <ul style="list-style-type: none"> ・管路情報システム (給水管設置等情報) のデータ更新。 ・給水装置の安全性を確保するため、指定給水装置工事事業者に対し申請時から完成に至るまでの間、管材料の選定から施工管理について指導や検査の強化に取り組みました。 ・給水管の更なる安全性向上の基礎資料とするため、他事業体での採用状況や製造事業者等に対する新管材に係る調査を実施しました。 | | |
| 要因・課題 対応策 | 〔要因・課題〕 <ul style="list-style-type: none"> ・新管材の採用に向け、有機溶剤に対する侵潤や運搬及び施工時の外面傷等の防止策を施した管材の検証を行っているが、施工場所 (ガソリンや灯油等を扱う場所) も限定されており、単価も割高となっております。 〔対応策〕 <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる安全性の取組として、新管材の採用に向けた検証を行ってまいります。 ・引き続き、管路情報システムのデータを最新のものに更新します。 | | |

平成29年度評価調書（施策）

| | | | |
|-------|--|------|---------|
| 計画目標 | 確実な給水の確保【強靱】 | 整理番号 | 2 - (2) |
| 施策 | 水道施設の計画的更新と維持管理 | 記載頁 | 46 - 52 |
| 施策の目的 | 水道水を将来にわたって安定的に供給できるよう配水場、配水管等の水道施設を過不足なく確保し、かつ適切に維持・管理していきます。 | | |

【施策の進捗状況の判定】

進展している・概ね進展している・一部の進展にとどまっている

| | | |
|------------|--------------|--------------|
| 目標を達成した取組数 | 概ね目標を達成した取組数 | 目標に届かなかった取組数 |
| 2 | 2 | — |

【施策実現のための各取組内容の進捗状況】

| | |
|----------------------|---------|
| ① 効率的な水運用のための水道施設の整備 | 目標を達成 |
| ② 配水施設の計画的更新 | 目標を達成 |
| ③ 管路施設の計画的更新 | 概ね目標を達成 |
| ④ 管路の維持管理及び漏水防止対策 | 概ね目標を達成 |

【各取組の実施状況】

| | | | |
|---------|---|-----|-------|
| 取組内容 | ①効率的な水運用のための水道施設の整備〔指標：目標を達成1(100%)〕 | 記載頁 | (担当課) |
| | | 46 | 施設課 |
| 取組の概要 | 将来の水需要に合わせた配水施設の統廃合や配水管のダウンサイジング等を検討・実施することで、効率的な水運用を図るとともに災害に強い水道施設を構築します。 | | |
| 当年度取組目標 | <p>【効率的な水運用のための水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水施設の統廃合及び配水管のダウンサイジングの検討を実施します。 <p>[再掲]</p> <p>給水区域内における効率的な水運用を検討し、配水場施設の統廃合を進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松尾配水場3号配水池築造 ・成東配水場の休止（廃止） <p>(本籍：P7 取組内容②配水施設の計画的更新参照)</p> <p>[再掲]</p> <p>配水管のダウンサイジングを実施します。</p> <p>(本籍：P8 取組内容③管路施設の計画的更新参照)</p> <p>(計画額 672,278 千円 当初予算 556,934 千円 決算額 378,570 千円)</p> | | |

| | | |
|--------------|--|-------|
| 指 標 | 配水施設の統廃合・配水管のダウンサイジングの検討・実施 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 配水施設の統廃合・配水管のダウンサイジングの検討・実施 | 目標を達成 |
| 実 績 | 配水施設の統廃合・配水管のダウンサイジングの検討・実施 | |
| 当年度実施状況 | 【効率的な水運用のための水道施設の整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・松尾配水場3号配水池詳細設計を実施しました。 ・配水管のダウンサイジング（縦1号幹線・縦6号幹線について口径350mmから口径300mmにダウンサイジング）を実施しました。 | |
| 要因・課題 対応策 | [要因・課題] [対応策] | |

| | | | |
|---------|--|-----------|--------------------|
| 取組内容 | ②配水施設の計画的更新 〔指標：目標を達成1（100%）〕 | 記載頁 47 | (担当課) 施設課 東金配水場 |
| 取組の概要 | 給水区域内における配水場の効率的な水運用を検討し、配水場の計画的な整備・更新を進めていきます。 | | |
| 当年度取組目標 | <p>【配水場の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部地域（山武市・横芝光町）の災害時においても安定した給水を確保するため、地震動レベル2の耐震性能を有する松尾配水場3号配水池の築造を進めていきます。 ・成東配水場の休止（廃止）に向けて、横6号幹線（東金～成東）整備に向けた詳細設計を行います。 <p>【配水施設の改修・更新】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している配水施設について計画的に改修・更新等を実施します。 （大網配水場監視制御設備更新工事） （東金配水場遠方監視制御設備更新工事） <p>【配水場の耐震化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大網配水場電気・ポンプ室棟の耐震補強工事を実施します。 ・配水場施設耐震化計画を策定します。 <p>（計画額 412,560 千円 当初予算 314,992 千円 決算額 307,577 千円）</p> | | |
| 指 標 | 配水池耐震施設率 | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 69.9% | 目標を達成 | |
| 実 績 | 69.9% | | |
| 当年度実施状況 | <p>【配水場の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時においても安定した給水を確保するため、地震動レベル2の耐震性能を有する松尾配水場3号配水池の詳細設計を実施しました。 ・成東配水場の休止（廃止）に向けて、横6号幹線（東金～成東）整備に向けた詳細設計を実施しました。 <p>【配水施設の改修・更新】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に老朽化した設備の更新を実施しました。 （大網配水場監視制御設備更新工事） （東金配水場遠方監視制御設備更新工事） | | |

| | |
|----------------------|--|
| | <p>【配水場の耐震化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大網配水場電気・ポンプ室棟の耐震補強工事を実施し、官庁施設耐震診断基準値である GIs 値 1.0 以上の 1.3 を確保しました。 ・配水施設の耐震性向上を図るため、配水場施設耐震化計画（素案）を作成しました。 |
| <p>要因・課題 対応策</p> | <p>[今後の方針]</p> <p>優先順位を決めて費用の平準化を図りながら、延命を主体とした計画的な改修や点検整備を実施していきます。</p> |

| | | | |
|---------|---|-----------|--------------|
| 取組内容 | ③管路施設の計画的更新 〔指標:目標を達成 1(20%)、概ね目標を達成 1(20%)、目標に届かなかった3(60%)〕 | 記載頁 49 | (担当課) 施設課 |
| 取組の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹管路（口径 350 mm以上の配水管）について、今後想定される大規模地震等の被害を最小限に抑えるため「基幹管路配水管耐震化計画」に基づき順次耐震管に更新していきます。 ・ 災害時に避難所となる学校や主要病院等の重要給水施設への配水管について、震災による被害を最小限に抑えるため「重要給水施設配水管耐震化計画」に基づき、耐震化を進めていきます。 ・ 耐用年数を迎える老朽管について、漏水が多発する路線や赤水が発生しやすい路線等の優先度を検討した上で、布設替えを実施していきます。 ・ 国道横断部や軌道横断部等の特殊形態管路についても、優先順位を定め計画的に耐震化を図っていきます。 | | |
| 当年度取組目標 | <p>【基幹管路配水管耐震化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹管路を対象とした耐震化工事を実施します。 配水管改良工事：口径φ300 L=4,640m <p>【重要給水施設配水管耐震化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要給水施設を対象とした耐震化工事を実施します。 配水管改良工事：口径φ50～φ150 L=1,800m <p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽管更新対象として漏水が多発している路線の更新工事を実施します。 配水管改良工事：L=3,500m <p>【特殊形態管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊形態管路（軌道横断管）を対象とした更新工事を実施します。 配水管内面更生工事：1箇所 <p>(計画額 896,831 千円 当初予算 712,680 千円 決算額 589,667 千円)</p> | | |

| | | |
|--------------|---|-----------|
| 指 標 | 基幹管路の耐震適合率 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 61.9% | 目標に届かなかった |
| 実 績 | 58.6% | |
| 指 標 | 管路の耐震化率 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 11.5% | 目標を達成 |
| 実 績 | 11.9% | |
| 指 標 | 経年化管路率 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 10%以下 | 目標に届かなかった |
| 実 績 | 18.0% | |
| 指 標 | 管路の更新率 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 0.4% | 目標に届かなかった |
| 実 績 | 0.3% | |
| 指 標 | 有収率 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 90.9% | 概ね目標を達成 |
| 実 績 | 90.6% | |
| 当年度実施状況 | <p>【基幹管路配水管耐震化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水管改良工事：L=1,930m ・舗装本復旧工事：A=4,538 m² <p>【重要給水施設配水管耐震化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水管改良工事：L=1,434m ・舗装本復旧工事：A=5,507 m² <p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水管改良工事：L=425.2m ・舗装本復旧工事：A=1,987 m² <p>【特殊形態管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水管内面更生工事：1箇所 | |
| 要因・課題 対応策 | <p>〔要因・課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路配水管耐震化事業・重要給水施設耐震化事業・老朽管更新事業・特殊形態管路更新事業において、更新計画の事業量を満たせるよう推進していく必要があります。 <p>〔対応策〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事監督業務等の委託範囲の更なる拡大を検討し遅延の解消を目指します。また、特殊形態管路更新事業においては、配水管電食調査の結果に即した更新計画の見直しを行います。 | |

| | | | |
|--------------|---|-----------|--------------|
| 取組内容 | ④管路の維持管理及び漏水防止対策 〔指標:概ね目標を達成1(100%)〕 | 記載頁 52 | (担当課) 維持課 |
| 取組の概要 | 配水管の健全性を維持し漏水事故の発生を防ぐため、定期的な保守点検や管路パトロールを実施します。 | | |
| 当年度取組目標 | <p>【配水管の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 配水管の定期的な保守・点検及び管路パトロール等を実施するとともに、特に老朽化が著しい地区の漏水調査を実施します。 (大網白里市) 配水管漏水調査業務委託 調査延長 L=480km <p>【国道・軌道横断部等の漏水防止対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道、軌道横断部及び水管橋等の特殊な配水管について定期的に点検を実施します。 高速道路跨架橋の点検を実施 (4箇所) 配水幹線水管橋点検の実施 (86箇所) <p>(計画額一千円 当初予算 13,789 千円 決算額 12,960 千円)</p> | | |
| 指 標 | 有収率 | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 90.9% | 概ね目標を達成 | |
| 実 績 | 90.6% | | |
| 当年度実施状況 | <p>【配水管の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 配水管漏水調査業務委託を実施しました。 (大網白里市) 調査延長 L=480km (17箇所発見) (山武市・横芝光町) 調査延長 L=166km (6箇所発見) <p>【国道・軌道横断部等の漏水防止対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道、軌道横断部及び水管橋等の特殊な配水管について定期的に点検を実施しました。 高速道路跨架橋の点検を実施 (4箇所) 配水幹線水管橋点検の実施 (86箇所) | | |
| 要因・課題 対応策 | <p>〔今後の方針〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、委託等も活用しながら保守・点検や管路パトロールを実施していきます。 | | |

平成29年度評価調書（施策）

| | | | |
|---------------------------------|---|--------------|--------------|
| 計画目標 | 確実な給水の確保【強靱】 | 整理番号 | 2－（3） |
| 施策 | 総合的な危機管理 | 記載頁 | 53－55 |
| 施策の目的 | 災害等の非常時においても、ライフラインである水道を機能させるための取組を強化していきます。 | | |
| 【施策の進捗状況の判定】 | | | |
| 進展している・概ね進展している・一部の進展にとどまっている | | | |
| 目標を達成した取組数 | 概ね目標を達成した取組数 | 目標に届かなかった取組数 | |
| 2 | — | — | |
| 【施策実現のための各取組内容の進捗状況】 | | | |
| ① 災害対策計画と活動マニュアルの運用管理 | 目標を達成 | | |
| ② 漏水事故及び災害時における復旧体制の強化及び関係者間の連携 | 目標を達成 | | |
| 【各取組の実施状況】 | | | |
| 取組内容 | ①災害対策計画と活動マニュアルの運用管理 〔指標：目標を達成1(100%)〕 | 記載頁 53 | (担当課) 総務課 |
| 取組の概要 | 災害対策実施計画及び活動マニュアルの的確な整備により、非常時における迅速かつ的確な応急給水・応急復旧体制の強化を図ります。 | | |
| 当年度取組目標 | 【災害対策実施計画及び活動マニュアルの整備】 ・災害時において、応急給水・応急復旧作業等を迅速かつ確実に実施するため、災害対策実施計画及び活動マニュアルの適切な見直しを行います。 【災害対策訓練の実施】 ・災害対策実施計画及び活動マニュアルに基づく訓練を実施し、災害時における職員の危機管理意識の向上や迅速な応急給水・応急復旧活動を行うための体制の確保に努めます。 | | |
| | (計画額 0千円 当初予算 0千円 決算額 0千円) | | |

| 指 標 | 災害対策の取組強化 | 進捗状況 |
|--------------|--|-------|
| 目 標 値 | 災害対策訓練の実施 | 目標を達成 |
| 実 績 | 災害対策訓練の実施 | |
| 当年度実施状況 | <p>【災害対策実施計画及び活動マニュアルの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策実施計画及び活動マニュアルについて、平成29年度の組織体制に併せて改正しました。 <p>【災害対策訓練の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達訓練（4月）及び総合的な災害対策訓練（3月）を実施しました。 | |
| 要因・課題 対応策 | <p>[今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時においてもお客様に迅速かつ的確に水道水をお届けできる体制が確保できるよう、引き続き、災害対策実施計画及び活動マニュアルを整備するとともに、災害等を想定した実践的な訓練を実施します。 | |

| | | | |
|---------|---|------------|-------------------------------|
| 取組内容 | ②漏水事故及び災害時における復旧体制の強化及び関係者間の連携 〔指標:目標を達成4(100%)〕 | 記載頁 5 4 | (担当課) 総務課 施設課 維持課 東金配水場 |
| 取組の概要 | <p>漏水事故が発生した場合、迅速な復旧が行えるよう緊急時に備えた体制の強化を図ってまいります。</p> <p>また、災害時における各種協定を締結し、関係機関との相互協力体制を構築するとともに、復旧体制及び資器材の供給体制の強化を図ってまいります。</p> | | |
| 当年度取組目標 | <p>【漏水事故の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漏水事故発生の際は、漏水修理業者と連携を図り、迅速に対応します。 <p>【災害時における連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係団体との協定に基づく災害訓練等に参加し連携の強化を図ります。 災害時等における協定締結事業者との連携した復旧体制の強化のため、協定締結事業者の拡充を図ります。 <p>【災害時に必要となる緊急資材及び応急給水のための資器材確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道用次亜塩素酸ナトリウムについては、必要量を確保するとともに消費期限の適正な管理を行います。 災害用備蓄資材の給水袋については、備蓄基準数量 6,000 枚を維持します。 <p>【災害時における拠点給水所の確保及び耐震性貯水槽等の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲料水兼用耐震性貯水槽設置要綱に基づき、維持管理の適正化を図るとともに構成市町へ設置に向けた働きかけを行ってまいります。 現在設置されている飲料水兼用耐震性貯水槽（山武市）2箇所について、重要給水施設配水管耐震化事業により配水管の耐震化を実施します。 <p>【渇水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 渇水時における諸活動が的確に行えるよう、渇水対策本部設置要綱及び渇水対策計画を適切に運用します。 <p>また、管網解析シミュレーションと現地のバルブ開閉状況を確認し効果的なバルブ操作が図れるよう検討します。</p> <p>(計画額 0 千円 当初予算 20,808 千円 決算額 17,754 千円)</p> | | |

| | | |
|---------|--|-------|
| 指 標 | 拠点給水密度（箇所／100 k m ² ） | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 1. 3箇所 | 目標を達成 |
| 実 績 | 1. 3箇所 | |
| 指 標 | 可搬ポリタンク・ポリパック保有度（個/1,000人） | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 33. 5個 | 目標を達成 |
| 実 績 | 37. 8個 | |
| 指 標 | 車載用給水タンク保有度（m ³ /1,000人） | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 0. 130 m ³ | 目標を達成 |
| 実 績 | 0. 131 m ³ | |
| 指 標 | 給水車保有度（台／1,000人） | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 0. 012台 | 目標を達成 |
| 実 績 | 0. 012台 | |
| 当年度実施状況 | <p>【漏水事故の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏水発生等による緊急時の復旧体制として、管内を5地区に分け24時間体制で待機し漏水等の発生時においては、迅速な修理対応を実施しました。 <p>【災害時における連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県主催の水質事故の情報伝達訓練に参加（5月） ・「千葉県内水道災害相互応援協定」に係る九十九里ブロック訓練（情報伝達訓練及び応急給水訓練）に参加（10月） ・全国水道企業団関東地区協議会災害対策情報伝達訓練（12月） ・日本水道協会関東地方支部（南関東ブロック）合同防災訓練に参加（1月） ・協定に基づく諸活動時の連絡体制確保のため、山武管工事業協同組合との無線通信試験を毎月実施 ・水道復旧活動に関する協定締結業者27社 ・資材協力に関する協定締結業者15社 <p>【災害時に必要となる緊急資材及び応急給水のための資器材確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道用次亜塩素酸ナトリウムについて必要量を確保し適正に管理しました。 ・資器材の補充として非常用給水袋600枚を購入し、備蓄基準数量を確保しました。 | |

| | |
|----------------------|---|
| | <p>【災害時における拠点給水所の確保及び耐震性貯水槽等の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲料水兼用耐震性貯水槽の設置に向け構成市町へ情報提供を実施しました。また、山武市に現在設置されている2箇所については、配水管の耐震化工事を実施しました。 <p>【渇水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、渇水は発生しませんでした。渇水時における諸活動が的確に行えるよう、渇水対策本部設置要綱及び渇水対策計画による対応を確認しました。 ・渇水時における管網解析シミュレーションを活用したバルブ操作について確認しました。 |
| <p>要因・課題 対応策</p> | <p>[要因・課題・対応策]</p> <p>渇水時にお客様に及ぼす影響を軽減できるよう、渇水対策本部設置要綱及び渇水対策計画を適宜更新していきます。</p> |

計画目標 3 【持続】：施策（4）お客様サービスの充実

平成 29 年度評価調書（施策）

| | | | |
|---------|---|-------|---------|
| 計 画 目 標 | 供給体制の持続性の確保【持続】 | 整理番号 | 3 - (4) |
| 施 策 | お客様サービスの充実 | 記 載 頁 | 56 - 57 |
| 施策の目的 | お客様サービスの充実に図るとともに水道事業全般にわたる情報をホームページ等を通じて提供し、水道に対する理解促進に努めてまいります。 | | |

【施策の進捗状況の判定】

進展している・概ね進展している・一部の進展にとどまっている

| | | |
|------------|--------------|--------------|
| 目標を達成した取組数 | 概ね目標を達成した取組数 | 目標に届かなかった取組数 |
| — | 1 | — |

【施策実現のための各取組内容の進捗状況】

| | |
|--------------|-----------|
| ① お客様サービスの向上 | 概ね目標を達成した |
|--------------|-----------|

【各取組の実施状況】

| | | | |
|---------|---|-----------|---------------------------|
| 取組内容 | ①お客様サービスの向上 〔指標：目標を達成1(50%)、目標に届かなかった1(50%)〕 | 記載頁 56 | (担当課) 業務課 維持課 企画財政課 |
| 取組の概要 | お客様への迅速な対応や円滑かつ適正な業務の実施など、お客様サービスを向上するための取組を推進します。 | | |
| 当年度取組目標 | <p>【お客様サービスの徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様サービスの向上を図るため、委託業者と定期的にミーティングを実施し、お客様への適切な対応及び適正な業務が遂行できるよう指導・監督を行います。 ホームページを活用し災害時の緊急情報、断水情報等を迅速に掲載します。 <p>【料金収納取扱いの拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな料金収納形態（大手銀行での取扱等）の検討を行うため、お客様からの要望を把握するとともに他事業体の状況調査等を行い、今後の方向性についての検討を行います。 <p>【水道サービスに関する情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページや広報紙を活用したお客様への情報発信や参加型広報活動の水道出前講座による水道事業のPRを実施します。 <p>(計画額 0千円 当初予算 915千円 決算額 809千円)</p> | | |

| | | |
|---------|--|-----------|
| 指 標 | 口座振替割合・自主納付割合 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 75.7%・24.3% | 目標に届かなかった |
| 実 績 | 72.3%・27.7% | |
| 指 標 | 普及率 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 93.0% | 目標を達成 |
| 実 績 | 93.2% | |
| 当年度実施状況 | <p>【お客様サービスの徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務に係る委託業者と定期的にミーティングを行い、お客様サービスの向上について指導・監督を実施しました。 ・漏水等に伴う断水発生時には、チラシの配布、また、大規模断水（30件以上）については、ホームページで情報を提供しました。 <p>【料金収納取扱いの拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様センター等を通じ、お客様からのお支払に関する要望状況について把握を行いました。また、他事業体の料金収納状況調査等を行い、取扱金融機関の拡大等についての検討を行いました。 <p>【水道サービスに関する情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道事業全般について、ホームページ及び広報紙の発行等による広報活動を実施しました。 ・参加型の広報活動として小学校4年生を対象とした水道出前講座を実施しました。 <p>(ホームページ)</p> <p>更新件数 119 件（アクセス件数約 4 万 5 千件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道事業に関する情報を発信 ・各種諸手続きに関する情報を発信 ・断水等の緊急情報を発信 <p>(広 報 紙)</p> <p>年 2 回（発行部数 10 月 51,500 部、3 月 51,300 部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道事業全般について情報を掲載 ・災害に備えた防災情報や水道管の耐震化状況等 ・上水道への加入促進 <p>(水道出前講座)</p> <p>小学 4 年生対象（参加数：7 校、377 人）</p> | |

| | |
|----------------------|---|
| <p>要因・課題 対応策</p> | <p>〔要因・課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様サービスの向上策として自主納付の利便性を図るため、コンビニでの取り扱いといった収納取扱機関の拡大を図ることができた反面、口座振替の利用率が低い傾向にあります。 <p>〔対応策〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、便利で確実な口座振替による支払いについて、広報紙等を活用し推進していきます。また、お客様へのサービスの向上に向けて新たな料金収納形態（大手都市銀行等での取扱）についても、お客様の意見や他水道事業体の状況を把握し検討を行ってまいります。 |
|----------------------|---|

平成29年度評価調書（施策）

| | | | |
|---|--|--------------|----------------|
| 計 画 目 標 | 供給体制の持続性の確保【持続】 | 整理番号 | 3 - (5) |
| 施 策 | 経営の健全化及び効率化 | 記 載 頁 | 58 - 62 |
| 施策の目的 | 水道事業を取り巻く経営環境は大きく変化し、厳しさが増していることから、経営の健全化及び効率化を推進し、将来にわたり持続可能な水道事業を目指します。 | | |
| 【施策の進捗状況の判定】 | | | |
| <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">進展している</div> ・概ね進展している・一部の進展にとどまっている | | | |
| 目標を達成した取組数 | 概ね目標を達成した取組数 | 目標に届かなかった取組数 | |
| 5 | — | — | |
| 【施策実現のための各取組内容の進捗状況】 | | | |
| ①将来需要の動向に即した水道料金制度の検討 | 目標を達成 | | |
| ②経営基盤の強化 | 目標を達成 | | |
| ③組織体制の強化 | 目標を達成 | | |
| ④統合・広域化の検討 | 目標を達成 | | |
| ⑤運営委員会の有効活用 | 目標を達成 | | |
| 【各取組の実施状況】 | | | |
| 取組内容 | ①将来需要の動向に即した水道料金制度の検討[指標:目標を達成 2(67%)、概ね目標を達成 1(33%)] | 記載頁 58 | (担当課) 企画財政課 |
| 取組の概要 | 最新の水需要予測等を財政収支に反映し、的確に将来予測を見込むことで安定した事業運営について検討を行います。 | | |
| 当年度取組目標 | <p>【将来における水需要の動向について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水需要予測については、国立社会保障人口問題研究所の将来推計を活用し、人口動態を踏まえ最新の実績値により分析を行うことで現状を把握し、将来における水需要を検証します。 <p>【今後の水道料金について（高料金化の抑制）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の水需要予測により中長期の財政収支を検証します。 [再掲]統合・広域化の検討 現在検討が進められている県内水道の統合・広域化について九十九里地域の末端水道事業体が事業統合することで経営の安定化が図られるか検討を行ってまいります。 <p>(取組内容 4 参照)</p> <p>(計画額 — 千円 当初予算 — 千円 決算額 — 千円)</p> | | |

| | | |
|--------------|---|---------|
| 指 標 | 給水原価・供給単価 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 265.88円・232.18円 | 概ね目標を達成 |
| 実 績 | 267.95円・232.40円 | |
| 指 標 | 1箇月当たり家庭用料金：10m ³ | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 2,041円 | 目標を達成 |
| 実 績 | 2,041円 | |
| 指 標 | 1箇月当たり家庭用料金：20m ³ | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 4,228円 | 目標を達成 |
| 実 績 | 4,228円 | |
| 当年度実施状況 | <p>【将来における水需要の動向について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水需要予測については、国立社会保障人口問題研究所の将来推計を活用し、人口動態を踏まえ最新の実績値により分析を行うことで現状を把握し、将来における水需要を検証しました。 <p>【今後の水道料金について（高料金化の抑制）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新の水需要予測により中長期の財政収支を検証しました。 | |
| 要因・課題 対応策 | <p>〔要因・課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少により給水量が減少傾向にあります。 <p>〔対応策〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水人口の減少は避けられない状況にあるため、より精度の高い水需要予測を行うとともに、収入と支出のバランスを確認しながら持続可能な財政運営に努めてまいります。 | |

| 【各取組の実施状況】 | | | |
|------------|---|-----------|--|
| 取組内容 | ②経営基盤の強化 〔指標:目標を達成1(100%)〕 | 記載頁 60 | (担当課) 総務課 業務課 施設課 企画財政課 東金配水場 |
| 取組の概要 | アセットマネジメント手法も活用しつつ、中長期的な視点に立った効率的・効果的な水道施設の管理運営を行うことで、経営の健全化を図ってまいります。 | | |
| 当年度取組目標 | <p>【適正な資産管理（アセットマネジメント）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメント簡易支援ツールによるデータ更新を行います。 <p>【企業債残高の適正な管理と発行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会経済情勢の変化や水需要予測及び老朽化施設の更新事業等の進捗状況を的確に把握した上で、中長期の財政収支見通しを検証します。 <p>【民間委託による業務の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託の活用による業務の効率化を目指し、他事業体動向等を調査し委託化の検討を行います。 <p>【各システムの適正な管理及び効率的運用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各システムを最新のデータに更新し充実させることで、お客様へ正確な情報を提供していくとともに、事業運営の効率化を図ります。 <p>(計画額 1,890 千円 当初予算 2,903 千円 決算額 2,862 千円)</p> | | |
| 指 標 | アセットマネジメント管理 | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | アセットマネジメントの実施 | 目標を達成 | |
| 実 績 | アセットマネジメントの実施 | | |
| 当年度実施状況 | <p>【適正な資産管理（アセットマネジメント）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産管理について、最新の基礎データを整理し、アセットマネジメントを実施することで管理水準の向上を図りました。 <p>【企業債残高の適正な管理と発行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の施設更新及び耐震化事業を把握し、財政収支から企業債の発行額について検証した結果、昨年度に引き続き、平成30年度当初予算編成において企業債の借入を見込むことなく建設改良事業の財源を確保できる見通しとなり企業債残高を減少させることができました。 | | |

| | |
|----------------------|--|
| | <p>【民間委託による業務の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査業務について全面委託化を実施しました。 <p>【各システムの適正な管理及び効率的運用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事計画や窓口業務等を迅速に行えるよう管路情報や給水装置工事に関する各システムについて、現地調査等に基づきデータを更新しました。 |
| <p>要因・課題 対応策</p> | <p>〔要因・課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントの基礎データの更新に留まっていますが、施設の更新計画を策定する必要があります。 <p>〔対応策・今後の方針〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントに対する取組方針を策定し、基礎データの管理水準を向上させながら、施設の現況を調査把握したうえで更新計画を策定します。 |

【各取組の実施状況】

| | | | |
|--------------|--|------------|--------------|
| 取組内容 | ③組織体制の強化 〔指標:目標を達成1(100%)〕 | 記載頁 6 1 | (担当課) 総務課 |
| 取組の概要 | 人的資源の最適化を追求し、定員及び組織を見直し最適化に努め、水道事業の運営基盤の強化を図っていきます。 | | |
| 当年度取組目標 | <p>【定員・組織の見直しによる運営基盤の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務継続に必要な職員数を確保するとともに、事務分掌や組織を見直し、より効率的な組織体制について検討します。 <p>(計画額 474,498 千円 当初予算 486,589 千円 決算額 480,251 千円)</p> | | |
| 指 標 | 職員数 | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 5 5 名 | 目標を達成 | |
| 実 績 | 5 7 名 (再任用 3 名含む) | | |
| 当年度実施状況 | <p>【定員・組織の見直しによる運営基盤の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員は 4 名 (事務 1 ・技術 3) の募集に対し 3 名 (事務 2 ・技術 1) を採用し、目標に対し 1 名不足することとなりましたが、再任用 (3 名) により必要な職員数は確保することができました。 ・熟練職員の大量退職を控えていたことから、業務継続に支障がないよう次年度以降の事務分掌及び組織体制を見直しました。 | | |
| 要因・課題 対応策 | <p>〔要因・課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員 (技術) の確保が困難な状況にあります。 <p>〔対応策〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員確保のため、学校訪問や職場見学会等により山武水道を P R し採用試験受験者の増加に努めるとともに、派遣制度や再任用制度の活用により、必要な職員数を確保します。 | | |

【各取組の実施状況】

| | | | |
|--------------|--|-----------|----------------|
| 取組内容 | ④統合・広域化の検討 〔指標:目標を達成2(67%)、概ね目標を達成1(33%)〕 | 記載頁 62 | (担当課) 企画財政課 |
| 取組の概要 | 九十九里地域の末端給水事業体が事業統合することで経営の健全化が図れるか検討を行ってまいります。 | | |
| 当年度取組目標 | <p>【近隣水道事業体との統合・広域化の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九十九里地域の末端給水事業体の統合・広域化に向けた基本構想(案)を策定します。 <p>(計画額 一 千円 当初予算 6,000 千円 決算額 3,880 千円)</p> | | |
| 指 標 | 給水原価・供給単価 | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 265.88円・232.18円 | 概ね目標を達成 | |
| 実 績 | 267.95円・232.40円 | | |
| 指 標 | 営業収支比率 | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 81.7% | 目標を達成 | |
| 実 績 | 81.8% | | |
| 指 標 | 統合・広域化に向けての検討 | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 基本構想(案)の策定 | 目標を達成 | |
| 実 績 | 基本構想(案)の策定 | | |
| 当年度実施状況 | <p>【近隣水道事業体との統合・広域化の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九十九里地域末端給水事業体の統合・広域化の検討として、課題を分析した上で、統合・広域化の効果を検証し中長期的な基本方針等を取り纏めた「基本構想(案)」を策定しました。 <p>※本基本構想(案)は、「千葉県末端水道事業体の統合に係る調査検討事業補助金」を活用</p> | | |
| 要因・課題 対応策 | <p>[今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が進めている用水供給事業体の統合・広域化に係る協議状況を注視しながら引き続き、九十九里地域の末端給水事業体の統合・広域化について検討を行ってまいります。 | | |

【各取組の実施状況】

| | | | |
|--------------|---|-----------|----------------|
| 取組内容 | ⑤運営委員会の有効活用 〔指標:目標を達成1(100%)〕 | 記載頁 62 | (担当課) 企画財政課 |
| 取組の概要 | 運営委員会を開催し、委員である有識者や水道利用者などの意見や助言を事業運営に反映します。 | | |
| 当年度取組目標 | <p>【運営委員会の有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道事業の各種計画の進捗状況や評価等を運営委員会に諮り、委員である有識者や水道利用者などの意見や助言を事業運営に反映させていきます。 <p>(計画額 50千円 当初予算 50千円 決算額 50千円)</p> | | |
| 指 標 | 運営委員会の開催 | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 年1回開催 | 目標を達成 | |
| 実 績 | 年1回開催 | | |
| 当年度実施状況 | <p>【運営委員会の有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成30年1月31日 議 題：(1)平成29年度上半期業務状況について (2)平成28年度「山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016」の進行管理結果について (3)配水施設の計画的更新について (4)九十九里地域末端水道事業体の統合・広域化の検討状況について | | |
| 要因・課題 対応策 | <p>[今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、運営委員会を開催し委員である有識者や水道利用者から意見や助言を頂き事業運営に反映します。 | | |

平成29年度評価調書（施策）

| | | | |
|-------------------------------|---|--------------|--------------|
| 計画目標 | 供給体制の持続性の確保【持続】 | 整理番号 | 3 - (6) |
| 施策 | 活力ある人材・組織づくり | 記載頁 | 63 |
| 施策の目的 | 専門知識と高い技術力を持つ職員を確保・育成することで、水道事業を持続するために必要な危機管理能力や職務遂行能力の維持・向上に努めてまいります。 | | |
| 【施策の進捗状況の判定】 | | | |
| 進展している・概ね進展している・一部の進展にとどまっている | | | |
| 目標を達成した取組数 | 概ね目標を達成した取組数 | 目標に届かなかった取組数 | |
| 1 | — | — | |
| 【施策実現のための各取組内容の進捗状況】 | | | |
| ①人材育成と技術の継承 | | 目標を達成 | |
| 【各取組の実施状況】 | | | |
| 取組内容 | ①人材育成と技術の継承 〔指標:目標を達成5(100%)〕 | 記載頁 63 | (担当課) 総務課 |
| 取組の概要 | 水道事業に必要な専門的知識及び職員資質の向上を図るため、積極的に研修会に職員を派遣します。また、熟練職員の持つ高い技術力等を若手職員に継承し、人材育成に努めます。 | | |
| 当年度取組目標 | 【職員の研修等による人材育成】 <ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識の習得及び職員の資質向上のため、各種研修会に職員を派遣します。 【技術の継承による人材育成】 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県水道局に技術職員を研修派遣し、資質の向上を図ります。 ・熟練職員からの技術継承に努めるとともに、次世代を担う職員に水道事業に必要な資格取得を奨励します。 <p>(計画額 800 千円 当初予算 711 千円 決算額 590 千円)</p> | | |

| | | |
|--------------|---|-------|
| 指 標 | 職員資格取得度 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 1. 79件/人 | 目標を達成 |
| 実 績 | 1. 79件/人 | |
| 指 標 | 外部研修時間 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 6. 7時間 | 目標を達成 |
| 実 績 | 13. 8時間 | |
| 指 標 | 内部研修時間 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 1. 5時間 | 目標を達成 |
| 実 績 | 2. 3時間 | |
| 指 標 | 技術職員率 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 47. 4% | 目標を達成 |
| 実 績 | 47. 4% | |
| 指 標 | 水道業務経験年数度 | 進捗状況 |
| 目 標 値 | 20. 1年/人 | 目標を達成 |
| 実 績 | 20. 1年/人 | |
| 当年度実施状況 | <p>【職員の研修等による人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山武郡市広域行政組合、千葉県自治研修センター及び日本水道協会等が主催する各種研修会に職員を派遣しました。 <p>【技術の継承による人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉県水道局に技術職員を研修派遣し、資質の向上を図りました。 熟練職員からの技術の継承に努めるとともに、次世代を担う職員に水道事業に必要な資格の取得を奨励しました。 (第1種電気工事士、第3種電気主任技術者、防火管理者) | |
| 要因・課題 対応策 | <p>〔課題・要因〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術職員率について熟練職員の定年退職が続くことから技術職の新規採用職員を確保していく必要があります。 <p>〔対応策〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校訪問や職場見学会等のPR活動により、採用試験受験者の増加に努めます。 | |

平成29年度評価調書（施策）

| | | | |
|---|---|--------------|---------------------------|
| 計画目標 | 供給体制の持続性の確保【持続】 | 整理番号 | 3-（7） |
| 施策 | 環境に配慮した事業運営の推進 | 記載頁 | 64 |
| 施策の目的 | 省エネルギー対策を促進することで、環境負荷の低減に努めます。 | | |
| 【施策の進捗状況の判定】 | | | |
| <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">進展している</div> ・概ね進展している・一部の進展にとどまっている | | | |
| 目標を達成した取組数 | 概ね目標を達成した取組数 | 目標に届かなかった取組数 | |
| 1 | — | — | |
| 【施策実現のための各取組内容の進捗状況】 | | | |
| ①省エネルギーと環境保全対策 | | 目標を達成 | |
| 【各取組の実施状況】 | | | |
| 取組内容 | ①省エネルギーと環境保全対策 〔指標：目標を達成2(100)%〕 | 記載頁 64 | (担当課) 総務課 施設課 東金配水場 |
| 取組の概要 | 配水方法や配水管工事等の工法を創意工夫することにより、省エネルギー対策及び建設副産物の減量化を図り、環境負荷を低減していきます。 | | |
| 当年度取組目標 | 【配水施設】 ・電気設備更新の際には省エネ性能の高い機器を採用し、省エネルギー化に努めます。 【建設副産物の減量化】 ・浅層埋設工法を適用し、工事で発生する土砂の軽量化を図るとともに作業の効率化による工期短縮により建設機械からのCO ₂ 発生量を削減します。 【庁舎事務局における対策】 ・デマンド監視装置の活用により、契約最大消費電力の現状維持に努めます。 (計画額 7,000 千円 当初予算 12,960 千円 決算額 12,852 千円) | | |
| 指 標 | 配水量 1 m ³ 当たり電力消費量 | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 0.05 (kWh/m ³) | 目標を達成 | |
| 実 績 | 0.05 (kWh/m ³) | | |
| 指 標 | 配水量 1 m ³ 当たり消費エネルギー | 進捗状況 | |
| 目 標 値 | 0.41 (MJ/m ³) | 目標を達成 | |
| 実 績 | 0.41 (MJ/m ³) | | |

| | |
|----------------------|--|
| <p>当年度実施状況</p> | <p>【配水施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大網配水場の配水ポンプ用インバータ装置を高効率化して省エネルギー化を進めました。 <p>【建設副産物の減量化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注工事全てに浅層埋設工法を適用し、掘削土砂の削減及び工期短縮と併せ、建設機械から発生するCO₂を削減しました。 <p>【庁舎事務局における対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎事務局における省エネルギー対策として、デマンド監視装置により使用電力量を管理調整しながら、休憩時間の消灯、ノー残業デー及びクールビズの実施により照明及び冷暖房設備の節電に取り組みました。 |
| <p>要因・課題 対応策</p> | <p>[今後の方針]</p> <p>引き続き環境負荷の低減に努めてまいります。</p> |